



発行／青森県立自然ふれあいセンター 〒038-1301 青森県青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1  
TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510 URL <http://www.jomon.ne.jp/~bonjyu/> メールアドレス [bonjyu@jomon.ne.jp](mailto:bonjyu@jomon.ne.jp)

## □ 行事レポート □

### ● 新春梵珠山登山 1月12日(日)



新年最初に行う恒例行事。今年もたくさんの参加者さんと共に新年を祝いました。

### ● 少年自然探検隊(冬) 1月26日(日)



子供たちを対象とした少年自然探検隊では、自然観察や雪遊びなどを通し、自然について学びました。

### ● 梵珠山雪下ろしツアー 2月2日(日)

梵珠山各所にある施設の雪下ろしを行いました。積雪は少なかったものの、やりごたえがありました。



### ● コンパスと地図で歩く梵珠山 2月9日(日)

コンパスの使い方と地図の見方の講習会を実施しました。年二回行っています。



### ● 梵珠山アニマルウォッチング 3月1日(日)



動物の残した足跡や食痕などを探し、アニマルトラッキングをしながら梵珠山を散策しました。

### ● 硬雪トレッキング 梵珠山～笹山往復

3月14日(土)



センターから笹山へ向かいました。天候に恵まれ、青森市内を眺めながらトレッキングしました。

### ●ヤドリギ

齋藤 信夫（青森自然誌研究会）

寄生植物というと、すぐ思い浮かぶのがヤドリギ類である。実際は半寄生だというのが、青森県内でヤドリギと呼ばれているのは、ヤドリギとホザキノヤドリギの2種類である。いずれも、寄主、すなわち、寄生された樹木にとっては、かなり厄介な相手である。懸命に稼いだエネルギーの一部をかすめ取られてしまうのだから、寄主にとっては非常に不都合な現実である。

山歩きをしている時には、樹木の枝や幹に付着しているヤドリギのような植物に、あまり目がいけないのが普通だ。樹幹に付着していると簡単に言われても、ヤドリギは半寄生、シダ植物であるホテイシダは着生である。両者とも葉が茂っている夏場よりも、落葉してしまった冬場の方がはっきり確認することができる。

ところで、梵珠山ではヤドリギ類の寄生はどんな状況なのだろうか。集中する場所はあるのか、寄主として選ばれる樹木には傾向があるのか。そんなことを考えながら、梵珠山の登山道を歩いていた時期があった。季節は晩秋から早春にかけてである。冬ごもりを得意とする私にとり、降雪時の調査は一念発起のフィールドワークである。サワグルミの道、ミスバショウの

道、マンガンの道、アカゲラの道をそれぞれ歩き、寄主、寄主の太さ、寄生している位置などを記録していった。サワグルミの道は六角堂を過ぎて尾根に出たあたりでミスバショウの道と合流し、その後さらに寺屋敷広場でマンガンの道と合流し、山頂へ向かう。梢を見上げながら、しかもカンジキを履きながら雪上を歩くのは難儀だった。調査木数246本、調査ヤドリギ数826個体である。結論的には集中したり閑散としたり、あるいは欠ける区間が長い場合もあるが、ヤドリギは十合目まで分布していた。登山道内にはホザキノヤドリギは確認できず、すべてヤドリギだった。ホザキノヤドリギはふれあいセンターの方からのご教示で、キャンプ場のシラカバへの寄生を確認した。十合目に相当する山頂では西側に設けられている休憩用のテーブルすぐそばのハルニレに寄生していた。

分かったことは、梵珠山での寄主は圧倒的にブナで、スギやヒバなどの針葉樹では全く確認できなかった。寄生が多い高度は200～300m付近、寄主の太さでは直径30～50cm付近に最も多かった。逆に直径20cm未満の樹木にはヤドリギは確認できなかった。



ヤマハンノキに寄生しているヤドリギ



ブナの枝に寄生しはじめたヤドリギ

| 生物こよみ (昨年) |          |           |     | 4月      |        |         |            |              |            |                |     |               |      |              |              |       |              | ☀️☁️☔️☁️: 昨年 <small>の</small> 天気 |               | ℃: 昨年 <small>の</small> 気温 (月最高気温) |             | 低: 昨年 <small>の</small> 気温 (月最低気温) |         |          |                |       |                |               |               |             |
|------------|----------|-----------|-----|---------|--------|---------|------------|--------------|------------|----------------|-----|---------------|------|--------------|--------------|-------|--------------|----------------------------------|---------------|-----------------------------------|-------------|-----------------------------------|---------|----------|----------------|-------|----------------|---------------|---------------|-------------|
| 日          | 1        | 2         | 3   | 4       | 5      | 6       | 7          | 8            | 9          | 10             | 11  | 12            | 13   | 14           | 15           | 16    | 17           | 18                               | 19            | 20                                | 21          | 22                                | 23      | 24       | 25             | 26    | 27             | 28            | 29            | 30          |
| 曜          | 月        | 火         | 水   | 木       | 金      | 土       | 日          | 月            | 火          | 水              | 木   | 金             | 土    | 日            | 月            | 火     | 水            | 木                                | 金             | 土                                 | 日           | 月                                 | 火       | 水        | 木              | 金     | 土              | 日             | 月             | 火           |
| 観察できたもの    | マルバマンサク花 | ヤマアカガエル卵塊 | ノスリ | ヤマアカガエル | シジュウカラ | ニホンカモシカ | カワラヒワ・イワナシ | ニホンカモシカ・ヒオドシ | アオゲラ・キセキレイ | キクザキイチゲ花・ハンノキ花 | コガラ | カタクリ花・ミスバショウ花 | ヒオドシ | コヨウラクツツジ蕾・モズ | エゾエンゴサク花・カケス | カワガラス | ニホンカモシカ・クマタカ | ウグイス・オシドリ                        | ニホンカモシカ・ルリビタキ | ホオジロ・カシラダカ                        | クロサンショウウオ卵囊 | ルリタテハ                             | ブナ花・アオジ | ヒバ花・ヤブサメ | カシラダカ・ヒガラ・キジバト | カタクリ花 | シジュウカラ・ミヤマキゲマン | シラカバ花・ミレサイシン花 | シジュウカラ・サンカヨウ花 | キビタキ・ヒレンジャク |
| 天          | ☀️       | ☁️        | ☁️  | ☀️      | ☔️     | ☔️      | ☔️         | ☔️           | ☔️         | ☔️             | ☔️  | ☔️            | ☔️   | ☔️           | ☔️           | ☔️    | ☔️           | ☔️                               | ☔️            | ☔️                                | ☔️          | ☔️                                | ☔️      | ☔️       | ☔️             | ☔️    | ☔️             | ☔️            | ☔️            | ☔️          |
| ℃          |          |           |     |         |        | 8       | 7          | 9            | 7          | 11             | 10  | 12            | 14   | 17           | 9            | 16    | 23           | 23                               | 11            | 12                                | 18          | 16                                | 21      | 24       | 13             | 8     | 6              | 15            | 18            | 15          |
| 低          |          |           |     |         |        | 2       | -1         | -2           | 0          | -1             | 0   | -1            | -1   | 1            | 4            | 5     | 2            | 4                                | -1            | -1                                | 3           | 3                                 | 1       | 6        | 7              | 1     | 2              | 1             | 2             | 5           |

※気象計不具合により記録無し

●梵珠の昆虫「サカハチチョウ」(タテハチョウ科) 鳴海 富美子 (津軽昆虫同好会)

漢字にすると「逆八蝶」。翅にある八の字を逆さにしたような模様から名付けられた。この模様は翅の表面にも裏面にもあるが、特に夏型の表面はこの白い模様がはっきりしていてイチモンジチョウを小さくしたような感じである。私も初めて見た時には小さなイチモンジチョウかと思った。

年 2 回の発生で春型と夏型があり、春型の翅はこげ茶色の地に赤みがかった複雑な帯があり、夏型はこげ茶色の地に白の一字模様がある。

北海道から九州まで各地に分布するようだが、梵珠では 5 月頃から 8 月頃までよく目にしており、林道や溪流沿いに多い。食草はイラクサ科のアカソなどであるが、ニレにも産卵したという記録もある。

以前、山道を歩いていたらすぐ側にアワブキがあったので葉先の丸まっている所を何げなくのぞいてみたら、アオバセセリの幼虫が顔を出していたのでびっくりしたことが

ある。アオバセセリでさえ身近で見られることもあるので、食草のアカソが見られる梵珠では案外身近な所でサカハチチョウを見られるのかもしれない。

興味深いのは産卵のしかたである。メスは食草の葉裏にとまって、時には 1 個、多くは 3~7 個の卵を柱状に産み付ける習性があり、通常先端の卵から順に孵化すると言われている。私は見たことがなく、是非一度見てみたいものだと思っている。

飛翔力はあまり強くない、やや低い場所を飛ぶ。森林周辺の比較的明るい場所を好み、オオハナウドなどいろいろな花に吸蜜にくる。また、湿地に下りて吸水したり、時には汗に来ることもあるようである。

以前はよく見かけたが、最近はあまり見かけなくなったような気がする。環境が変化したのだろうか。蛹で越冬する。

タテハチョウ科の中でも小さなチョウで、幾何学模様が美しく、出会うと心が和む。



サカハチチョウ (夏型) 翅表



サカハチチョウ (夏型) 翅裏

| 生物ごよみ (昨年) |           |               | 5 月      |           |              | ☀️☁️☔️: 昨年の天気 |          |      | ℃: 昨年の気温 (月最高気温) |            |             | 低: 昨年の気温 (月最低気温) |        |         |          |          |           |        |           |            |       |            |                 |               |         |     |                |           |      |       |       |         |
|------------|-----------|---------------|----------|-----------|--------------|---------------|----------|------|------------------|------------|-------------|------------------|--------|---------|----------|----------|-----------|--------|-----------|------------|-------|------------|-----------------|---------------|---------|-----|----------------|-----------|------|-------|-------|---------|
| 日          | 1         | 2             | 3        | 4         | 5            | 6             | 7        | 8    | 9                | 10         | 11          | 12               | 13     | 14      | 15       | 16       | 17        | 18     | 19        | 20         | 21    | 22         | 23              | 24            | 25      | 26  | 27             | 28        | 29   | 30    | 31    |         |
| 曜          | 水         | 木             | 金        | 土         | 日            | 月             | 火        | 水    | 木                | 金          | 土           | 日                | 月      | 火       | 水        | 木        | 金         | 土      | 日         | 月          | 火     | 水          | 木               | 金             | 土       | 日   | 月              | 火         | 水    | 木     | 金     |         |
| 観察できたもの    | キビタキ・ヤブサメ | オオバクロモシ花・オオルリ | キクザキイチゲ花 | アマツバメ・ノジコ | クロサンショウウオオ卵囊 | ニホントカゲ・アナグマ   | ミヤマキケマン花 | ウグイス | アオダイショウ・エンレイソウ花  | コツバメ・エルタテハ | ヒヨウノセンカタバミ花 | ムラサキヤシオ花・ニンリンソウ花 | エゾハルゼミ | シラネアオイ花 | ホウチャクソウ花 | オオルリ・ノジコ | キセキレイ・カケス | ヤマツツジ花 | キクガシラコウモリ | アカシヨウビン鳴き声 | ミスズキ花 | カワガラス・ウグイス | ニホンザル・ミヤマカラスアゲハ | ニホンザル・サカハチチョウ | コンロンソウ花 | ヒメス | ウスバシロチョウ・アカタテハ | モリアオガエル卵塊 | アナグマ | キセキレイ | トキノキ花 | ヒメクロサナエ |
| 天          | ☔️        | ☁️            | ☀️       | ☀️        | ☀️           | ☔️            | ☀️       | ☁️   | ☀️               | ☀️         | ☀️          | ☀️               | ☀️     | ☀️      | ☁️       | ☀️       | ☀️        | ☀️     | ☀️        | ☀️         | ☔️    | ☁️         | ☀️              | ☀️            | ☀️      | ☀️  | ☀️             | ☁️        | ☔️   | ☀️    | ☁️    |         |
| ℃          | 17        | 14            | 17       | 19        | 25           | 24            | 16       | 18   | 20               | 20         | 20          | 17               | 21     | 21      | 21       | 22       | 21        | 24     | 25        | 28         | 20    | 24         | 27              | 25            | 30      | 33  | 31             | 23        | 21   | 24    | 21    |         |
| 低          | 9         | 7             | 5        | 4         | 3            | 8             | 6        | 6    | 8                | 4          | 4           | 4                | 4      | 6       | 10       | 9        | 10        | 9      | 11        | 10         | 10    | 8          | 7               | 8             | 9       | 13  | 13             | 10        | 10   | 12    | 11    |         |

### ●クリタケはニガクリタケ属へ

湯口 竹幸（青森県きのこ会）

晩秋の広葉樹林は落葉が進み、落葉と木肌そして樹間から覗く空のコントラストに見とれてしまう。見晴らしが効いて思いがけない大きな倒木や立ち枯れの存在に気付くようになる。傾いた晩秋の日差しが足元まで照らすようになると、クリの実を思わせる株立ちのきのこを見かけるようになる。「クリタケ」だ。明るい茶褐色～濃いレンガ色、湿り気はあるが粘性はなく、傘周辺には白い三角形の鱗片を持つが成菌では取れやすい。ヒダは成熟により白から紫褐色へ変化する。柄の上部は白っぽく、下部はさび褐色でツバはない。

「クリタケ」という名は子供にも判りやすい良い名前と思う。津軽の地方名は「アカツブレ」。この赤みに注目し、持ち帰って背負いかごから開けると壊れやすくてペチャンコになっているからだろうか。他所には「アカンボウ」もある。クリタケは長年親しまれてきたが、近年微量のネマトリンという毒成分が検出されており、ヨーロッパでは毒菌扱いされているので大量に、または、継続して食べることや、湯でこぼすなど注意が必要と思う。

DNA 解析からの類縁関係を調べるとクリタケはニガクリタケから派生しており、その説を

採用してクリタケ属はニガクリタケ属に変更されている。近年きのこの分野に興味を持つ企業が増えてきたせいか、新たに微量の毒成分が発見されるきのこが増えている。一昨年、苦みを持つクリタケだからニガクリタケと命名されたが逆になった。ニガクリタケは「スズメタケ」「ニガッコ」「ドクアカタケ」等の多くの地方名を持つ。クリタケとは苦みの有無、ヒダの硫黄色、傘は黄色味が強いことで区別する。津軽ではニガクリタケ中毒により親子6人のうち父は間もなく、母は翌日回復したが、子供4人は小さい順に4人とも亡くなるという痛ましい事故があった。佃煮にして食したらしい。三沢では夫婦二人のうち夫が亡くなっている。最近、東京の墨田区の祭り会場でクリタケと間違えたニガクリタケをパック詰めで販売する事件もあった。強い苦みがあるがしっかり茹でると苦みが減じるらしいが毒成分は消えない。本属にはクリタケに似て、針葉樹から発生する「クリタケモドキ（可食）」、ニガクリタケに似て苦みが無く胞子が少し大きい「ニガクリタケモドキ」、少しだけ苦みがあって華奢な「アシボソクリタケ」もある。この事故歴のある属に限らないが、見分ける時はいつも緊張する。



クリタケ



クリタケとニガクリタケ

| 生物ごよみ (昨年) |      |       | 6月              |                | ☀️☁️☔️☪️: 昨年の天気 |               | ℃: 昨年の気温 (月最高気温) |               | 低: 昨年の気温 (月最低気温) |                |                 |            |                  |        |      |         |       |        |           |      |         |            |        |         |                |                |      |      |       |       |
|------------|------|-------|-----------------|----------------|-----------------|---------------|------------------|---------------|------------------|----------------|-----------------|------------|------------------|--------|------|---------|-------|--------|-----------|------|---------|------------|--------|---------|----------------|----------------|------|------|-------|-------|
| 日          | 1    | 2     | 3               | 4              | 5               | 6             | 7                | 8             | 9                | 10             | 11              | 12         | 13               | 14     | 15   | 16      | 17    | 18     | 19        | 20   | 21      | 22         | 23     | 24      | 25             | 26             | 27   | 28   | 29    | 30    |
| 曜          | 月    | 火     | 水               | 木              | 金               | 土             | 日                | 月             | 火                | 水              | 木               | 金          | 土                | 日      | 月    | 火       | 水     | 木      | 金         | 土    | 日       | 月          | 火      | 水       | 木              | 金              | 土    | 日    | 月     | 火     |
| 観察できたもの    | アカゲラ | カンボク花 | ヤクルマンウ花・エンイトトンボ | アカハライモリ・シオヤトンボ | カワガラス・ニホントカゲ    | アオゲラ・エナガ・アナグマ | ギンリョウソウ花         | キビタキ・ヒオトシチヨウ菌 | ノヒチドリ花・ニホンカウトンボ  | オオハナウド花・トランシツミ | ハルシオン花・ウスバシロチョウ | ヤマドリ・クロツグミ | エンハルゼミ・ヤマキマダラヒカゲ | ダビドサナエ | キジバト | サイハイラン花 | カワガラス | シオヤトンボ | キクガシラコウモリ | アオゲラ | ヒオトシチヨウ | オオルリ・ニホンザル | オオミズアオ | ヒオトシチヨウ | フタシズカ花・オニシモツケ花 | フシミドリシジミ・ルリタテハ | ツツドリ | オオルリ | ニホンザル | ニホンザル |
| 天          | ☀️   | ☀️    | ☀️              | ☁️             | ☀️              | ☁️            | ☀️               | ☀️            | ☀️               | ☀️             | ☀️              | ☀️         | ☀️               | ☀️     | ☁️   | ☔️      | ☔️    | ☀️     | ☀️        | ☀️   | ☀️      | ☔️         | ☀️     | ☁️      | ☀️             | ☀️             | ☀️   | ☁️   | ☁️    | ☁️    |
| ℃          | 23   | 24    | 27              | 27             | 27              | 21            | 23               | 18            | 21               | 20             | 19              | 20         | 22               | 28     | 21   | 15      | 14    | 21     | 22        | 24   | 22      | 19         | 21     | 22      | 18             | 25             | 23   | 18   | 19    | 21    |
| 低          | 10   | 10    | 10              | 11             | 14              | 14            | 13               | 10            | 9                | 11             | 11              | 9          | 10               | 10     | 15   | 14      | 9     | 8      | 10        | 12   | 14      | 16         | 14     | 13      | 14             | 14             | 13   | 14   | 13    | 15    |